

## 研究科教育目標

大阪大学は、「物事の本質を見極める学問と教育が大学の使命であり、この使命を果たすことで大学は社会に貢献していく」という理念のもと、「地域に生き世界に伸びる」をモットーに、次代の社会を支え、人類の理想の実現をはかる有能な人材を社会に輩出することを目標としています。

その目標を実現するため、学部及び研究科並びに全学的な教育組織において、

- 高度な専門性と深い学識
- 教養・デザイン力・国際性

を身につけた知識基盤社会のリーダーとなるべき人材の育成に取り組んでいます。

薬学とは、生命・健康を分子や物質に注目して総合的に科学する学問であり、医薬品の創成や適正使用法の確立、生活環境の安全・安心の確保などを通じて人類の健康に奉仕し、豊かな社会の発展に貢献することを目的としています。大阪大学の教育目標を受けて、薬学研究科は、薬学の発展を主導できる優れた人材を育成することを理念とし、独立行政法人医薬品医療機器総合機構、国立医薬品食品衛生研究所等の学内外の機関と連携を深め、薬学領域の最先端の研究を通して、幅広い知識と深い専門性を修得することにより、将来、研究、医療、教育、産業、行政等の分野で国際的に活躍して「ものづくり（創薬）」に貢献できる指導的研究者を養成します。

創成薬学専攻では、アカデミア創薬を強力に推進でき、国際的競争力をもった、最先端創薬研究者の養成を実施するとともに、海外の著名大学等への研究派遣や国際学会等への派遣を通してグローバル人材の養成を推進し、「創薬基盤技術力」の深化を目指します。

医療薬学専攻では、Pharm.D コース（大阪大学）修了者を対象とした、「創薬臨床力」のさらなる強化を目指した特別コースの設置に加え、協定締結先のアリゾナ大学を含めたグローバルな視点での国際的共同研究・教育の実施とともに、臨床科学の視点から、薬学の特色である「ものづくり力（創薬）」を習得できることを目指します。

## 研究科ディプロマ・ポリシー

大阪大学は、教育目標に定める人材を育成するため、所定の期間在学し、所属研究科において定める専門分野に関する高度な知識・技能並びに教養・デザイン力・国際性を身につけ、所定の単位を修得し審査及び試験に合格した学生に学位を授与します。

大阪大学のディプロマ・ポリシーのもとに、薬学研究科では、創成薬学専攻においては、最先端の基礎科学を習得するのみならず、新たな生命原理の発見や革新的科学技術・医療技術の創成に寄与する「創薬基盤技術力」を備えた人材の育成を実践します。

一方、医療薬学専攻においては、最新の医療を理解・習得し、現在の薬物治療・医療技術の科学的評価と最適化、あるいは、疾患の発症機序の解明とそれに基づく新規薬物治療の開発に寄与する「創薬臨床力」を備えた人材の育成を実践します。

## 研究科カリキュラム・ポリシー

大阪大学は、学位授与の方針に掲げる高度な知識・技能などを修得させるために、専攻分野に関する科目、大学院横断教育科目及び博士課程教育リーディングプログラム科目を体系的に編成し、講義、演習、実習等を適切に組合せた高度な授業を開講するとともに優れた研究指導を行います。

大阪大学のカリキュラム・ポリシーのもとに、薬学研究科では、高度な専門性を有する人材を育成するための大学院教育として、創成薬学専攻では、薬科学科での教育を基礎として、学内外の研究所等との協力連携体制のもと、博士前期課程では、学修課題を複数の科目等を通して体系的に履修するコースワークを充実させ、研究科横断型の大学院高度副プログラム等の科目を含む選択コースの特色に合わせた必修・選択科目の区分を設けます。これらの講義科目に加え、所属研究分野が行う創成薬学ゼミナール及び特別演習を必修科目として設定し、研究プロジェクトの企画・マネジメント能力やプレゼンテーション能力を修得することにより、多様な領域で活躍できる薬学研究者の育成を図ります。

博士後期課程では、所属研究分野での特別研究や特別演習により、最先端の研究を通して自立的な研究者として必要な課題探求能力や問題解決能力を修得することにより、生命科学、創薬科学、社会・環境衛生薬学、医療薬学の発展を主導できる「創薬基盤技術力」を備えた優れた薬学研究者の育成を図ります。

一方、医療薬学専攻博士課程では、薬学科での教育を基礎として、本学の医療系部局や医学部附属病院、学外機関等との密な連携体制のもと、研究科横断型の大学院高度副プログラム等の科目を含む講義、医療薬学ゼミナール及び特別演習を体系的に履修します。これにより、臨床薬学・医療薬学から基礎薬学まで多様な専門領域における実践的な教育研究を行い、「創薬臨床力」を備えた patient-oriented scientists の育成を図ります。

## 研究科アドミッション・ポリシー

大阪大学は、教育目標に定める人材を育成するため、学部又は大学院の教育課程等における学修を通して、確かな基礎学力、専門分野における十分な知識及び主体的に学ぶ態度を身につけ、自ら課題を発見し探求しようとする意欲に溢れる人を受け入れます。このような学生を適正に選抜するために、研究科・専攻等の募集単位ごとに、多様な選抜方法を実施します。

大阪大学のアドミッション・ポリシーのもとに、薬学研究科では、生命科学、創薬科学、社会・環境衛生薬学、医療薬学の発展を主導し、「ものづくり（創薬）」に貢献することができる優れた人材を育成するために、研究を通して培った論理的かつ柔軟な思考力と、豊かな創造性を備えた人を求めます。

上記のような薬学の発展を主導できる人材の育成教育に値する学生を見出すために、創成薬学専攻の博士前期課程では、出身学部を限定しない一般入試と共に、大阪大学薬学部以外の出身者を対象とする特別入試を行い、広く優秀な人材の受け入れを行っています。また、創成薬学専攻博士後期課程及び医療薬学専攻博士課程でもそれぞれ2回の入試を行い、同様に、社会人や留学生も含めた多様な研究教育背景を持つ優秀な学生の受け入れに努めています。

さらに、連携大学院を構成する在京の講座に入学を希望する者には同時期に東京入試を実施しています。